

Let's make our pronunciation better !

班員 太田岬希 古川あおい
松本涼杷 マクデイド朗南

trip
novel
rely
wealth
rule
advantage
lately
terrible

指導者 津嶋大樹先生

4 質の高い教育を
みんなに



研究の動機と目的

日々英語を発音する中で、時々発音しづらい単語や相手が聞き取りづらい単語がある。その特徴や傾向を見つけて解決案を考えることで、自信を持って英語を話せる人が多くなるのではと考えたから。



結果

・調査を受けた生徒のほとんどが同じ単語を難しいと回答した。
・s.r.w.lで始まる単語やw.l.e.thで終わる単語は特に発音されにくい場合や認識されづらい。
・フォニックスで発音させた後の単語やスペルの発音の方が一回目の発音より認識されやすかった。



先行研究

日本人にとって英語の発音が難しい理由 『日本語は音の数が少ない』
『音とスペルが一致していない』



英語の発音がわかった上で、自分たちなりの発音方法を考えたい。さらに、それが他の人たちの英語の発音に影響を与えるのか調査したい。

考察

・日本で使うカタカナ語と英語の発音が異なる 単語は難しい
・フォニックスを使うと正しい発音がわかる

仮説

発音が難しい単語や機械が読み取りづらい単語やアルファベットの特徴をまとめて、共通点やコツを見つければ認識されやすくなる。

研究方法

- ①LEAPを読む。
- ②発音しづらい単語に印をつける。
- ③②の結果からLEAPの中で発音が難しい単語を絞る。
- ④抜き打ち調査を学年で行う。

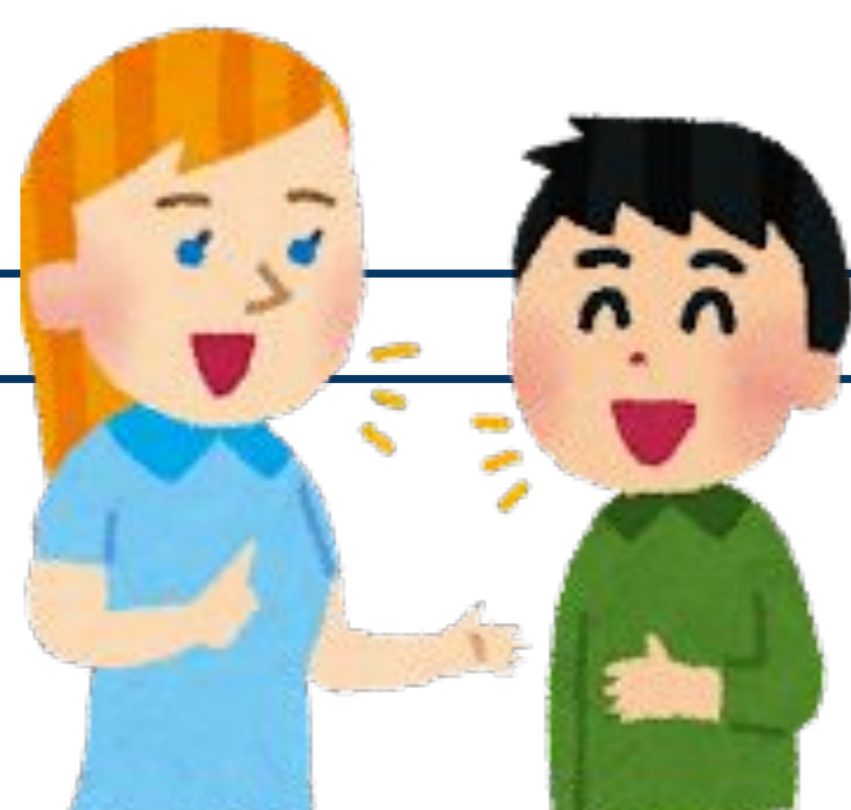
[抜き打ち調査の内容]

③の単語を2年生に読んでもらい、認識率を調べる(タブレット端末の翻訳機能で正しく発音できているか)

→正しいカタカナ発音を伝え、それを読んでもらう。同様に認識率を調べる。

必要な道具

タブレット端末
LEAP



結論

LEAPの単語を自分は発音できていると感じても発音できていない場合も意外と多い
海外と日本ではアルファベットの発音が根本的にちがうから。

[主な要因]

➡フォニックスや日本人特有の発音のなまり
～それらを改善すると～
発音が良くなり自信がつくことで、海外の人とコミュニケーションを取ったり、面接、授業などさまざまな場面で生かすことができる。

今後の展望

限られた英単語のみの実験だったため、英語の短い文章でも実験する必要がある。今回は延高2年生のみだったためもっと大規模な調査を行いたい。また、フォニックスが私達の英語の発音にどのような影響を与えるのかも調査したい。

謝辞

今回の研究をするにあたり、ご指導いただいたアドバイザーの皆様、津嶋大樹先生、ありがとうございました。